

人への恐れ

レッスン4： 三つの恐れ：拒絶される恐れ



「彼は蔑まれ、人々からのけ者にされ、悲しみの人で、病を知っていた。人が顔を背けるほど蔑まれ、私たちも彼を尊ばなかった。」 - イザヤ 53:3

1. 紹介

- 私のアイデンティティ（自分らしさ）と生きる意味はどこで見つめますか？
- 人は必ず私たちが拒絶してしまいます

2. 私たちは拒絶される恐れをどのように表しますか？

- 自分の性格や自分の特徴を必要以上に心配する
- 誉め言葉を求めようとする
- 完璧を求めすぎる
- 周りに流される
- 福音を分かち合わない
- ほかのクリスチャンとの交流の仕方
- 人との話し方

3. 拒絶される恐れと人に受け入れられたいという欲求は、どのように私たちを傷つけますか？

- 他人に操られやすくなる
- 罪に対して盲目にってしまう
- お世辞やうそにだまされやすくしてしまう
- ほかの罪も犯しやすくなる
- 肉体的に、精神的に疲れさせてしまう

4. プライドはどのように拒絶に対する恐れを促しますか？

「人に対する恐れが私たちの心の内に燃えている炎であれば、プライドはその炎をあおる燃料と酸素です。」

- プライドは、私たちの罪や過ちをゆがめようとします。
- プライドは、私たちが褒められたいようにします。
- プライドは、自分の強さを大げさに、弱さを小さくさせようとします。
- プライドは、私たちの心ではなく、行動を変えさせようとします。
- プライドは、罪に向き合うことを忘れさせようとします。

5. では、他人を喜ばそうとすべきでしょうか？

- 神様や隣人に対する愛を勝らないような栄誉を求めることは良いことです。
(箴言 15:33)
- 福音をほかの人に分かち合うために必要な分、他人に受け入れられることは良いことです。(1 テモテ 3:2、7；1 コリント 9:19-23)
- 両親や権威者から受け入れられることは良いことです。
(出エジプト記 20:12、箴言 16:14-15、テトス 2:9-10)
- 夫や妻の喜びを求めることは良いことです。
(1 コリント 7:32-34)
- ほかの兄弟姉妹が躓かないために、自分のクリスチャンとしての自由を否定することは良いことです。(ローマ 15章)

6. 聖書に出てくる拒絶に対する恐れ

7. イエスさまが拒絶されたことを覚えておきましょう。

- これを覚えておくことによって、自分に対する拒絶を正しい見方で見ることが出来ます。
- イエスさまが拒絶されことによって、私たちは受け入れられるようになりました。(エペソ 2章)
- イエスさまが拒絶されたことによって、私たちに同情することができます。
(ヘブル 4章)